

【国語科】

国語表現

履修学科	普通科(未来創造コース、保育コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	国語表現(大修館書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	○小論文・レポート入門	○ 小論文の基本的な書き方を理解する。 ○ レポートの基本的な書き方を理解する。
	5		
	6		
前期 期末	7	○自己PRと面接	○ 事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。 ○ 調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。
	8		
	9		
後期 中間	10	○書いて伝える(2) ○声とコミュニケーション(2)	○ 図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ○ 話すことの順序を考えて、わかりやすいショートスピーチをする。
	11		
	12		
後期 期末	1	○詩歌を楽しむ	○ さまざまな詩歌を読み、味わうことを通して、言語文化に対する理解を深める。 ○ さまざまな詩歌観賞をふまえて、表現を工夫しながら創作する。
	2		
	3		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【国語科】

国語表現

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	国語表現（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○書いて伝える	○ わかりやすく読みやすい、整った文章を書く能力を身につける。 ○ 小論文の基本的な書き方を理解する。
	5	○小論文・レポート入門（1）	
	6		
前期期末	7	○小論文・レポート入門（2）	○ レポートの基本的な書き方を理解する。 ○ 事実やできごとを踏まえて、「将来の自分」について文章にまとめる。
	8	○自己PRと面接	
	9		
後期中間	10	○メディアを駆使する	○ 相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ○ 聞くこと、話す事、伝え合う事を見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。
	11	○声とコミュニケーション	
	12		
後期期末	1	○会話・議論・発表	○ 場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ○ 文章を読み、考えたことについて議論をしたり発表したりする。
	2		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【国語科】

現代文B

履修学科	普通科（進学コース） 商業科（進学ライセンスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	精選現代文B 新訂版（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○評論（一）	○本文の論理展開を正確に理解する。 ○描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わい、ものの見方、感じ方を広げたり深めたりする。
	5	○小説（一）	
	6		
前期末	7	○評論（二）	○文章の構成や、段落相互の関係を読みとりながら、筆者の主張や内容を捉える。 ○表現技法を理解し、評論のおもしろさを感じとる。 ○登場人物の人間像、心情の推移を的確に把握する。
	8	○小説（二）	
	9		
後期中間	10	○評論（四）	○論理的な文章について論理の展開や要旨を的確にとらえる。 ○短歌・俳句独特の表現を学習し、基本的な鑑賞の態度、方法を身につける。
	11	○短歌・俳句	
学年末	12	○評論（五）	○文章の論理的な展開をたどりながら、筆者の問題意識をとらえ、自分の考えを深める。 ○登場人物の人間像、心情の推移を的確に把握する。
	1	○小説（三）	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」（浜島書店）				

【国語科】

現代文B

履修学科	普通科(未来創造・保育)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	新編現代文B (教育出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○随想 ○小説1	○随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心を持ち、理解を深める。 ○文章の構成に着目して要旨を捉える。 ○登場人物の心理の変化と物語のヤマ場での思いについて、文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的にとらえる。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	○評論1 ○詩	○筆者の問題意識、具体例、考察といった論理の展開を読み取る。や論理の展開を読み取る。 ○詩の中のさまざまな形の表現や構成の技巧が、心情の表現にどのような効果をはたらかせているかを捉える。 ○登場人物の心理にかかわる地の文や、言葉のニュアンスの表現上の効果を読み味わう。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	○評論2 ○小説2	○論理的な文章を読んで、筆者の問題意識や着目点について考えを深める。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解し、自らの書く文章の中で活かせるようにする。 ○小説文に描かれる主人公の生き方や、人間の運命について考えを深める。
	11		
後期期末	12	○小説3 ○評論3	○作品内容について考察し、テーマを読み取る ○主要な常用漢字の読み書きや語句も意味を理解する。 ○社会的な出来事を描いた文章を通じて、そこに生きる人間の姿を捉え、自らの意見をまとめる。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」(浜島書店)				

【国語科】

現代文B

履修学科	商業科(情報ビジネスコース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	新編現代文B (教育出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	○随想 ○小説1	○随想に表れた筆者の心情やものを見る視点に関心を持ち、理解を深める。 ○文章の構成に着目して要旨を捉える。 ○登場人物の心理の変化と物語のヤマ場での思いについて、文の構成や展開、表現などを考え合わせながら総合的にとらえる。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	○評論1 ○詩	○筆者の問題意識、具体例、考察といった論理の展開を読み取る。 ○詩の独特のリズムや修辞技巧などの特徴を捉える。 ○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	○小説2 ○評論2	○主要な常用漢字の読み書きや語句の意味を理解し、自らの書く文章の中で活かせるようにする。 ○場面の展開を踏まえて登場人物の心理を的確に読み取り、どのような人物として描かれているかを考える。 ○論理的な文章を読んで、筆者の問題意識や着目点について考えを深める。
	11		
後期期末	12 1	○小説3 ○評論3	○作品内容について考察し、テーマを読み取る ○主要な常用漢字の読み書きや語句も意味を理解する。 ○社会的な出来事を描いた文章を通じて、そこに生きる人間の姿を捉え、自らの意見をまとめる。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○国語常識：「プレゼミ総合国語」(浜島書店)				

【国語科】

古 典 A

履 修 学 科	美術・デザイン科
履 修 学 年	第3学年
履 修 形 態	選択
履 修 単 位	2単位
教 科 書	高等学校改訂版標準古典A（第一学習社）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	【古文編】 ○説話	○古典の内容を展開に即して的確にとらえる。 ○昔の言葉と現代の言葉とのつながりを理解する。 ○古典の語句の意味、文の構造を理解する。 ○物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。
	5	○随筆	
	6	【漢文編】 ○逸話	
前 期 期 末	7	【古文編】 ○歴史物語	○分奏に現れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。 ○作者の人物像についての認識を深め、心情を読み取る。 ○詩人たちの人生観や自然観について認識を深める。
	8	○日記	
	9	【漢文編】 詩文	
後 期 中 間	10	【古文編】 ○物語（1）	○文章に表れた人間の考えや感情を読み取り、もの見方、考え方を深める。 ○文学作品を鑑賞する能力を高める。 ○世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ○さまざまな人間の生き方についての考えを深める。
	11	【漢文編】 ○『三国志』	
後 期 期 末	12	【古文編】 ○俳諧 ○物語（2）	○古典の言葉に示されたもの見方を理解する。 ○古典の内容を展開に即して的確に理解する。 ○作品に表れる作者の社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする。
	1	【漢文編】 ○物語	

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【国語科】

古 典 B

履 修 学 科	普通科（進学コース・私立文系）
履 修 学 年	第3学年
履 修 形 態	必修
履 修 単 位	2単位
教 科 書	精選古典B改訂版（大修館書店）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	【古文編】 ○説話	○古典の内容を展開に即して的確にとらえる。 ○古典の語句の意味、文の構造を理解する。 ○物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。
	5	○随筆	
	6	【漢文編】 ○逸話と寓話	
前 期 期 末	7	【古文編】 ○物語（1）	○分奏に現れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。 ○作者の人物像についての認識を深め、心情を読み取る。 ○詩人たちの人生観や自然観について認識を深める。
	8	○日記	
	9	【漢文編】 ○漢詩	
後 期 中 間	10	【古文編】 ○物語（2）	○文章に表れた人間の考えや感情を読み取り、もの見方、考え方を深める。 ○文学作品を鑑賞する能力を高める。 ○世界史で学習した事柄との繋がりを理解する。 ○さまざまな人間の生き方についての考えを深める。
	11	【漢文編】 ○思想一諸子百家	
後 期 期 末	12	【古文編】 ○評論 ○近世の小説・浄瑠璃	○古典の言葉に示されたもの見方を理解する。 ○古典の内容を展開に即して的確に理解する。 ○物語の筋の展開を正確に把握し、表現や構成の巧みさを鑑賞できる能力を養う。
	1	【漢文編】 ○小説	

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	使用する補助教材 ○漢文：「新徹底理解高校漢文」、「新徹底理解高校漢文ワーク」（東京書籍） ○古文：「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」（東京書籍）				

【国語科】

国語探究

履修学科	普通科(進学コース・私立文系、私立理系)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「基礎から学べる！文章力ステップ」 (公益財団法人 日本漢字能力検定協会)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	【文章力ステップ 文章検定4級対応】 第1章 語彙・文法 第2章 資料分析 第3章 文章読解	○文章を読み書きする上で必要な語彙・文法・表記などの力を養う。 ○資料を分析し、他者が発信する情報を正確に読み解き、発信者の意図を見抜く基礎的な力を養う。 ○多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合・構造化して考えをまとめる基本的な力を養う。
	5		
	6		
前期期末	7	【文章力ステップ 文章検定3級対応】 第1章 語彙・文法 第2章 資料分析 第3章 文章読解	○第1章、第2章については夏期課題として前期中間考査からの学びを継続し、文章を読み書きする上で必要な語彙・文法・表記などの力を養う。 ○資料を分析し、他者が発信する情報を正確に読み解き、発信者の意図を見抜く力を養う。
	8		
	9		
後期中間	10	【文章力ステップ 文章検定3級対応】 第2章 資料分析 第3章 文章読解	○資料を分析し、他者が発信する情報を正確に読み解き、発信者の意図を見抜く力を養う。 ○多様な文章や図表などをもとに、複数の情報を統合・構造化して考えをまとめる力を養う。
	11		
後期期末	12	【文章力ステップ 文章検定4級対応】 第4章 手紙文	○手紙文の形式を理解し、適切な表現・表記を習得する。 ○手紙文の推敲のポイント、仕方を理解する。 ○敬語の基本知識を理解する。
	1	【文章力ステップ 文章検定3級対応】 第4章 手紙文	

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	○文章能力検定を受検し、4級ないしは3級の合格を目指す。				

【地歴公民科】

世界史 A

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「世界の歴史」(東京書籍)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	世界史へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校社会科で学んだ日本列島の歴史をもとに、日本と世界のつながりについて振り返る。 ・中国を中心とする東アジア、一神教の聖地である西アジア、そしてヨーロッパの歴史を整理し、古くから交流しあってきたことを学ぶ。
	5	第1部 近・現代世界史の背景	
	6	序章 古代文明の成立 第1章 ユーラシアの諸地域世界	
前期末	7	第2部 成熟するアジアと 世界へむかうヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代に続く西欧諸国の世界各地への進出、支配の展開という形で、真の意味での世界の一体化が始まる背景を理解する。 ・市民革命や産業革命による近代化がアメリカ大陸やアジア世界など、多くの地域にも影響を与えたことを理解する。
	8	第2章 アジア諸帝国の繁栄とヨーロッパ	
	9	第3章 大西洋世界の変容とその波及	
		第4章 産業化社会の拡大と成熟	
後期中間	10	第5章 アジア諸国の変貌と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・アジアの近代がヨーロッパの進出によって始まったことを理解する。 ・産業革命の広がりや植民地獲得競争の激化による欧米の帝国主義の動きに対する民族の自由と自決を求める民族主義(ナショナリズム)の動きを理解する。
	11	第3部 現代の世界と日本 第6章 帝国と民族の時代	
後期末	12	第7章 二つの世界大戦の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦の原因や政治・経済・国際関係のお変遷についての的確な整理と理解を深める。 ・大戦後の冷戦構造、植民地からの独立と第三世界の勢力・発展について現代の問題点との関係を理解する。
	1	第8章 冷戦と民族独立の時代	

評価の割合	筆記テスト70%(点)相当 平常点(下記評価)30%(点)相当 計100%(点)				
考査の実施	前期中間・期末、後期中間・期末(年4回)				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	◇ 教科書の他、副教材として図説も使用しますので、忘れずに持ってきて下さい。				

【公民科】

政治経済

履修学科	普通科、商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修(3年普進学文系, 商進学ライセンス)
履修単位	2単位
教科書	最新政治・経済(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第2編 現代の経済 第1章 経済社会の変容 第2章 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 資本主義や社会主義という経済体制の特質を理解させ、その変容を概観する。 市場のはたらきや国民所得、景気変動など経済の基本的事柄に対する理解を深化させる。
	5		
	6		
前期期末	7	第2章 現代経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> バブル崩壊と金融、財政の課題などを理解させ、租税の意義も考えさせる。
	8		
	9		
後期中間	10	第3章 現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> バブルとその崩壊後の不況という現状に至る日本経済の流れを追い、経済成長や景気変動、金融・財政政策という理論的既習事項を現実の歴史の中で具体的に把握させる。
	11		
	12		
後期期末	1	第3章 現代の日本経済と福祉の向上	<ul style="list-style-type: none"> 公害や労働関係、社会保障といった日本経済が直面する課題について理解し、今後の展望について考察させる。
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項					

【数学科】

数学Ⅱ

履修学科	普通科（保育・未来創造）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	数学Ⅱ Standard（東京書籍）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	4章 指数関数・対数関数 1節 指数関数 1 整数の指数 2 累乗根	<ul style="list-style-type: none"> 指数を整数から有理数に拡張しても累乗が定義でき、指数法則が成り立つことを理解する。 指数関数のグラフの特徴と性質を理解し、指数関数のグラフを利用して、実数の大小比較や方程式、不等式を解くことができる。 対数の定義や性質を理解し、簡単な式の値を求めることができる。 指数関数の性質と関連づけながら、対数関数の性質について理解を深め、そのグラフの特徴と性質を理解する。
	5	3 有理数の指数	
	6	4 指数関数とそのグラフ 2節 対数関数 1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ	
前期期末	7	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数 1 平均変化率	<ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解させ、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができるようにする。 微分法を用いて、接線の方程式を求めることができる。
	8	2 微分係数	
	9	3 導関数 4 導関数の計算 2節 導関数の応用 1 接線の方程式	
後期中間	10	2 関数の増減	<ul style="list-style-type: none"> 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形を書くことができるようにする。 グラフの概形を利用して、方程式の解や不等式の証明など、微分の考えを事象の考察に活用することができるようにする。
	11	3 関数の極大・極小 4 関数の最大・最小 5 方程式・不等式への応用	
学年末	12	3節 積分 1 不定積分 2 定積分	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び、定積分の意味について理解し、不定積分や定積分を求めることができるようにする。 定積分を用いて、直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができるようにする。
	1	3 定積分と面積	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

数学Ⅲ

履修学科	普通科（進学理系）
履修学年	第3学年
履修形態	選択
履修単位	5単位
教科書	数学Ⅲ Standard（東京書籍）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	1章 平面上の曲線 1節 2次曲線 2節 媒介変数表示と極座標	<ul style="list-style-type: none"> 放物線、楕円、双曲線についてそれぞれの基本的な性質を理解させる。 放物線、楕円を媒介変数で表すことから一般角の曲線の媒介変数表示について学習する。さらに、極座標、極方程式について学習する。 座標平面上の点に複素数を対応させ、複素数平面への理解を深める。
	5 6	2章 複素数平面 1節 複素数平面	
前期 期末	7	2節 図形への応用	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形を複素数の集合とみなし、複素数の平面図形の問題への応用を図る。 分数関数、無理関数についてグラフをかいたり、三角関数の極限が求められるようにする。 数列の極限に関しては、収束、発散、振動の意味を学び、数列の極限への理解を深める。
	8	3章 関数と極限 1節 関数	
	9	2節 数列の極限 3節 関数の極限	
後期 中間	10	4章 微分 1節 微分法 2節 いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> 微分可能の概念を理解し、微分可能性と連続性との関係を把握させる。 和・差・積・商の導関数、合成関数、逆関数、陰関数の微分法、さらには三角関数の微分、対数関数の微分を学習する。 導関数を用いて接線や法線の方程式を求めたり、第2次導関数を用いてグラフの凸凹、変曲点を調べてかけるようにする。
	11	5章 微分の応用 1節 接線、関数の増減 2節 微分のいろいろな応用	
学年 末	12 1	6章 積分とその応用 1節 不定積分 2節 定積分 3節 面積・体積・長さ 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 積分の基本的な性質や置換積分法、部分積分法について理解させる。 偶関数と奇関数を利用して定積分の計算につなげる。 定積分と微分との関係を理解させ、区分求積法について学習する。 いろいろな曲線で囲まれた図形の面積を計算させる。 積分による角錐、円錐の体積を求めさせ、積分の有用性を理解し、回転体の体積も求められることを学習する。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や 考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

教養数学

履修学科	普通科（保進・進学文系）、美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修（美術・デザイン科は選択）
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	数学 I 1 数と式 2 2次関数	教材：「数学 I ・ A 基本問題精選」 （中部日本教育文化会） ・ 数学 I において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	5		
	6		
前期期末	7	数学 I 3 図形と計量 4 データの分析	・ 数学 I において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	8		
	9		
後期中間	10	数学 A 1 場合の数 2 確率	・ 数学 A において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	11		
	12		
学年末	12	数学 A 3 整数の性質 4 図形の性質	・ 数学 A において、基礎から標準的な問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や 考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【数学科】

数学探究 A

履修学科	普通科（進学理系・看護医療）
履修学年	第3学年
履修形態	必修（看護医療）選択（進理）
履修単位	3単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など		
前期中間	4	数学 I 1章 数と式・2次方程式 2章 2次関数 3章 図形と計量 4章 集合と論証 5章 データの分析	教材：「攻略!共通テスト PickUp128 数 I A II B」 （東京書籍） ・数学 I において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。		
	5				
	6				
前期期末	7			数学 A 6章 場合の数と確率 7章 整数の性質 8章 図形の性質 数学 II 9章 方程式・式と証明	・数学 II A において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。
	8				
	9				
後期中間	10	10章 図形と方程式 11章 三角関数 12章 指数関数・対数関数	・数学 II において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。		
	11				
学年末	12	数学 B 13章 微分と積分 14章 数列 15章 ベクトル	・数学 II B において、基礎から標準レベルの問題を演習することにより、大学受験に必要な基礎力を確実に身に付ける。		
	1				

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【理 科】

物 理

履修学科	普通科（進学理系）
履修学年	第3学年（2年次から継続履修）
履修形態	選択
履修単位	4単位
教科書	「物理」（東京書籍）
副教材	「Let's Try Note」（東京書籍）

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	第3編 波 1章 波の性質	<ul style="list-style-type: none"> 波の伝わり方とその表し方について理解する。またホイヘンスの原理、反射・屈折および屈折率について理解する。 音の回折と干渉について理解する。 光の反射、屈折、分散、偏光、速さ、波長などについて観察、実験を通して理解する。 光の回折と干渉について理解する。
	5	2章 音	
	6	3章 光	
前期末	7	第4編 電気と磁気 1章 電界と電位	<ul style="list-style-type: none"> 電荷が相互に及ぼし合う力や電界（電場）の表し方について理解する。 摩擦帯電などの実験、電界の様子を観察などを通して、電荷が相互に及ぼし合う力、電気量の保存、電界の性質、電気力線について理解する。 コンデンサーの性質について理解する。
	8	2章 電流	
	9		
後期中間	10	3章 電流と磁界	<ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁界について理解を深める。 中学校での学習を発展させ、電流が磁界から受ける力について理解を深める。 交流について理解を深め、交流回路のインピーダンス等について理解する。
	11	4章 電磁誘導と電磁波	
学年末	12	第5編 原子 1章 電子と光	<ul style="list-style-type: none"> 電子の電荷と質量について理解する。 原子の構造とボーアの原子モデルから、原子が出す光のスペクトルと電子のエネルギー準位の関係について理解する。 クォークとレプトンなどの素粒子の存在、および基本的な力について理解する。
	1	2章 原子と原子核	
	2	終章 物理学が築く未来	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 問題集「Let's Try Note」を各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げること。 				

【理科】

化学基礎

履修学科	美術デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「高校化学基礎新訂版」(実教出版)
副教材	「高校化学基礎カーノート」(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第1章 物質の構成 第1節 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> 物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体・化合物及び混合物について理解する。 原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。 粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。
	5	第2節 物質の構成粒子	
	6		
前期 期末	7	第2章 物質と化学結合 第1節 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。 金属結合及び金属の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連づけて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。
	8	第2節 共有結合	
	9	第3節 金属結合	
	9	第4節 粒子の結合と結晶	
後期 中間	10	第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 酸と塩基の性質を理解する。また、酸・塩基の強弱と電離度の大小についても理解する。
	11	第2節 酸と塩基	
学年 末	12	第3章 物質の変化 第2節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> 水素イオン濃度とpHの関係を理解する。 中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。
	1	第3節 酸化還元反応	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「高校化学基礎カーノート」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科進学コース（理系・看護医療系）
履修学年	第3学年（2年次から継続履修）
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	「新版化学新訂版」（実教出版）
副教材	「アクセスノート化学」（実教出版）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 第4章 有機化合物 第1節 有機化合物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、官能基によって分類されることを理解する。 脂肪族炭化水素の構造や性質，反応を知る。 酸素を含む脂肪族炭化水素の分類，性質，反応を理解する。
	5 第2節 脂肪族炭化水素	
	6 第3節 酸素を含む脂肪族炭化水素	
前期期末	7 第4節 芳香族化合物	<ul style="list-style-type: none"> 有機化合物の化学式を決定するための一連の手順を学ぶ。 芳香族炭化水素の性質，反応などを理解する。 糖類，アミノ酸，医薬品，染料などに利用される有機化合物について学ぶ。
	8 第5節 有機化合物と人間生活	
	9	
後期中間	10 第5章 高分子化合物 第1節 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> 高分子化合物の分類と特徴について理解する。 糖類，タンパク質，核酸について、その構造，性質，存在例などを理解する。
	11 第2節 天然高分子化合物	
学年末	12 第3節 合成高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> 合成繊維，合成樹脂について、その代表的な物質の構造，性質，利用例などを理解する。 繊維，プラスチック，合成ゴムについて、その特徴や利用例などを理解する。
	1 第4節 高分子化合物と人間生活	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「アクセスノート化学」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

化学

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年（2年次から継続履修）
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	高等学校化学（第一学習社）
副教材	スタディノート化学

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 第IV章 有機化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物は、官能基ごとに似た性質をもつため、官能基によって分類されることを理解する。 ・脂肪族炭化水素の構造や性質，反応を知る。
	5 第1節 有機化合物の特徴と構造	
	6 第2節 脂肪族炭化水素	
前期末	7 第3節 酸素を含む脂肪族炭化水素	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素を含む脂肪族炭化水素の分類，性質，反応を理解する。 ・芳香族炭化水素の性質，反応などを理解する。 ・糖類，アミノ酸，医薬品，染料などに利用される有機化合物について学ぶ。
	8 第4節 芳香族化合物	
	9 第5節 有機化合物と人間生活	
後期中間	10 第V章 高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子化合物の分類と特徴について理解する。 ・合成繊維，合成樹脂について、その代表的な物質の構造，性質，利用例などを理解する。
	11 第1節 合成高分子化合物	
学年末	12 第2節 天然高分子化合物	<ul style="list-style-type: none"> ・糖類，タンパク質，核酸について、その構造，性質，存在例などを理解する。 ・機能性高分子，合成ゴムについて、その特徴や利用例などを理解する。
	1 第3節 高分子化合物と人間生活	
	2 3	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「スタディノート」は、各自予習復習に用い、考查前には3回転以上やり遂げていること。 				

【理科】

生物

履修学科	普通科(未来創造・進学文系)
履修学年	第3学年(2学年から継続履修)
履修形態	必修(進学文系), 選択(未来創造)
履修単位	2単位(2学年で2単位)
教科書	「改訂 生物」(第一学習社)
副教材	「セミナー生物」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> 植物ホルモンの作用によって、頂芽優勢、果実の成熟、落葉・落果が起こることを理解している。 光受容体の性質と光形態形成の関係について関心をもち、意欲的に理解しようとする。 受容器は特定の刺激のみを受容して感覚が生じることに関心をもち、積極的に理解しようとする。
	5	1. 植物の環境応答	
	6	2. 動物の環境応答	
前期期末	7	3. 動物の行動 第4編 生態と環境	<ul style="list-style-type: none"> かぎ刺激によって生得的行動が生じることに関心をもち、意欲的に学習しようとする。 動物や植物の個体群にみられる密度効果について関心をもち、理解しようとする。 環境形成作用によって多様な種が共存する環境が提供されることを理解しようとする。
	8	第6章 生物群集と生態系	
	9	1. 個体群と生物群集 2. 生態系の物質生産	
後期中間	10	3. 生態系と生物多様性 第5編 生物の進化と系統	<ul style="list-style-type: none"> 生態系における物質の生産と消費の関係を理解している。 生物多様性の3つのとらえ方を理解している。 塩基配列や染色体の構造や数に変化が生じることで形質に変化が現れることに関心をもち、積極的に理解しようとする。
	11	第7章 生物の進化 1. 進化のしくみ	
学年末	12	2. 生物の起源と生物の変遷 第8章 生物の系統	<ul style="list-style-type: none"> 原始地球の環境や化学進化に関心をもち、意欲的に学習しようとする。 種の表し方に関心をもち、理解しようとする。 原生物界、植物界、菌界、動物界の系統関係を理解しようとする。
	1	1. 生物の分類の変遷と系統	
	2	2. 生物の系統関係	
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30 点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「セミナー生物」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

生物

履修学科	普通科進学コース(理系, 看護医療系)
履修学年	第3学年(2学年から継続履修)
履修形態	必修(看護系)、選択(理系)
履修単位	4単位(2学年で2単位)
教科書	「改訂 生物」(第一学習社)
副教材	「セナ-生物」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第2編 生殖と発生 第4章 生殖と発生 3. 動物の発生	<ul style="list-style-type: none"> 配偶子の形成過程を理解しようとする。 卵割と体細胞分裂の細胞周期の違いに関心を持ち、意欲的に理解しようとする。 中胚葉誘導や神経誘導のしくみを理解している。 細胞の全能性に関心を示し、理解しようとする。 被子植物の配偶子形成と重複受精に関心を持ち、理解しようとする。
	5	4. 動物の発生における形態形成のしくみ	
	6	5. 植物の発生	
前期末	7	第3編 生物の環境応答 第5章 生物の環境応答 1. 植物の環境応答	<ul style="list-style-type: none"> 植物ホルモンの作用によって、頂芽優勢、果実の成熟、落葉・落果が起こることを理解している。 光受容体の性質と光形態形成の関係について関心を持ち、意欲的に理解しようとする。 受容器は特定の刺激のみを受容して感覚が生じることに関心を持ち、積極的に理解しようとする。 試行錯誤による学習に関心を示し、理解しようとする。
	8	2. 動物の環境応答	
	9	3. 動物の行動	
後期中間	10	第4編 生態と環境 第6章 生物群集と生態系 1. 個体群と生物群集	<ul style="list-style-type: none"> 動物や植物の個体群にみられる密度効果について関心を持ち、理解しようとする。 環境形成作用によって多様な種が共存する環境が提供されることを理解しようとする。 生態系における物質の生産と消費の関係を理解している。 生物多様性の3つのとらえ方を理解している。
	11	2. 生態系の物質生産 3. 生態系と生物多様性	
学年末	12	第5編 生物の進化と系統 第7章 生物の進化	<ul style="list-style-type: none"> ウマを例に、生息環境に適応して進化することを理解している。 原始地球の環境や化学進化に関心を持ち、意欲的に学習しようとする。 種の表し方に関心を持ち、理解しようとする。 原生生物界、植物界、菌界、動物界の系統関係を理解しようとする。
	1	1. 進化のしくみ	
	2	2. 生物の起源と生物の変遷	
	3	第8章 生物の系統 1. 生物の分類の変遷と系統 2. 生物の系統関係	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物(プリント、ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したノートのまとめをしっかりと行い、プリントもきちんととること。 教科書準拠の問題集「セナ-生物」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理 科】

地学基礎

履修学科	普通科, 商業科
履修学年	第3学年 (普通科進学看護医療系、商業科)
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「高等学校改訂地学基礎」(第一学習社)
副教材	「ネオパルノート地学基礎」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 宇宙における地球	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙の広がりや銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。 ・太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。 ・太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。
	5	第1節 宇宙の構成	
	6	第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球	
前期期末	7	第2章 活動する地球	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 ・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。 ・地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。
	8	第1節 地球の姿	
	9	第2節 火山活動と地震	
後期中間	10	第3章 移り変わる地球	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の働きと地層の形成について学習する。 ・化石のでき方および示相化石と示準化石を学習する。 ・相対年代と絶対年代について学習し、地質年代表について理解する。
	11	第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷	
学年末	12	第5章 地球の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地球の温暖化について学習する。 ・気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 ・大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。 ・緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。
	1	第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境 第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント, ノート, ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 ・教科書準拠の問題集「ネオパルノート地学基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【理科】

理科探究

履修学科	普通科（進学理系）
履修学年	第3学年
履修形態	選択
履修単位	2単位
副教材	「改訂地学基礎」（第一学習社） 「改訂生物基礎」（第一学習社） 「新版化学基礎新訂版」（実教出版）
副教材	「ネオパルノート地学基礎」（第一学習社） 「プログレス生物基礎」（第一学習社） 「アクセス化学基礎」（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移	<ul style="list-style-type: none"> 植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを学習する。 バイオームの概念を理解する。 生態系の構成について理解する。 人間活動が生態系にさまざまな影響を与えていることを理解する。
	5	第2節 バイオームとその分布	
	6	第5章 生態系とその保全 第1節 生態系 第2節 生態系のバランスと保全	
前期期末	7	第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 酸化・還元の定義を理解し、知識を身に付けている。
	8	第2節 酸と塩基	
	9	第3節 酸化還元反応	
後期中間	10	第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球の温暖化について学習する。 気団や季節風、日本の天気の特徴を理解する。 大気の組成、大気圧力、大気圏の構造を学習する。 緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。
	11	第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動	
学年末	12 1 2 3	大学入試問題演習	<ul style="list-style-type: none"> センター試験や私立大学二次試験の過去問を中心に実践的な問題演習を行い、「生物基礎」・「化学基礎」・「地学基礎」の内容の理解を深めるとともに、大学入試問題への対応能力を高める。

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物(プリント、ノート等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。 教科書準拠の問題集「ネオパルノート地学基礎」、「プログレス生物基礎」、「アクセス化学基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。 				

【保健体育科】

体 育

履修学科	普通科・商業科・美術デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	アクティブスポーツ

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 体づくり運動 集団行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の中で約束や決まりを守り、機敏的確に行動することを身に付ける。 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	5 選択授業 バドミントン	
	6 バレーボール バスケットボール ソフトボール	
前期期末	7 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	8 バレーボール	
	9 バスケットボール サッカー	
後期中間	10 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	11 バスケットボール サッカー（ソフトボール） 軽スポーツ	
学年末	12 選択授業 バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。
	1 バスケットボール サッカー（ソフトボール） 軽スポーツ	

評価の割合	授業内でのテスト 70% 考查点/平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
留意事項	「生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する能力の育成」「健康の保持増進のための実践力の育成」及び「体力の向上」をねらいとする。				

【芸術科】

音楽探究

履修学科	普通科
履修学年	第3学年(保育コース)
履修形態	必履修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「音楽探求」学習のためのガイダンス、アンケート ・歌唱(合唱) ・キーボードアンサンブル ・リズム練習 ・楽典(基礎の復習・音符、音階、記号、など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの進捗や進路希望の確認 ・声によるハーモニーを作り、感じ取る。 ・教科書「ぐるぐるピアノ」 ・リズム練習を通して読譜力を高める。 ・プリント学習
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ実技 および リズム練習 テスト ・楽典 テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・バイエル 課題 リズム練習を通して読譜力を高める。 ・読譜上必要な楽典を学ぶ。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD鑑賞 ・ピアノ実技 ・発表会に向けて 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカルまたはバレエ(予定) ・バイエル 課題 ・3年間のまとめとしての発表 選曲、練習
	11		
後期 期末	12	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会(発表) ・レポート課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間のまとめの発表 発表の経験をする 発表会時のマナーを学ぶ ・レポート提出 ・鑑賞
	1		
	2		
	3		

評価の割合	実技テスト点/小テスト点 80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	おもな評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 実技テスト	○	○	○	○	
留意事項	実技の取り組み状況が評価に大きくかかわります。				

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	普通科（未来創造・保育）、商業科（情ビ）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	All aboard! Communication English II （東京書籍）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Lesson 6 A Microcosm in the Sea	教材：「英単語ターゲット 1200」（旺文社） 「書き込み式ノート英単語ターゲット 1200 Workbook 3」 ① 環境破壊の進むグレートバリアリーフの現状に注意を向けさせ、自分たちができる環境保護について考える。② 福島県立勿来工業高校フラダンスチームはフラダンスを通じて、自分たちが地元の人々のためにできることを考える。③ if 節、関係代名詞の意味と用法、知覚動詞の用法を理解する。
	5	Lesson 7 Happiness through Hula	
	6		
前期期末	7	Lesson 8 Magic of the Cotswolds	① 結衣が旅行中にジョーンズ先生、ジャック、ソフィーに宛てて書いたメールを読む。イギリスの美しい風景やそこに住む人々の生き方などを通じて、外国への興味を持たせたり、自分の住んでいる土地について考えるきっかけとしたい。② 関係副詞の意味と用法を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	Lesson 9 The Bitter Truth about Chocolate	① チョコレートの原材料のカカオの生産と、西アフリカにおける児童労働に関する現状を理解し、1つの解決策であるフェアトレードシステムについて考える。② 使役動詞の意味と用法を理解する。
	11		
学年末	12	Lesson 10 Designing for Peace	① 世界に1億以上埋められているといわれている「地雷」。特に地雷の数が多くの1つがアフガニスタンである。この国出身のあるデザイナーがこの問題を見つめることで、地雷問題への関心をさらに深めさせたい。② 分詞構文の意味と用法を理解する。
	1		

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・学年末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒への指示等はできるだけ英語で行い、コミュニケーション的な発話を促す。 ・生徒が英語を発する活動をできるだけ増やし、英語使用への動機づけを行う。 ・英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語 II

履修学科	商業科（進ラ） 美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	WORLD TREK II(桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Lesson 6 Racing toward Your Dreams	教材： 「英単語ターゲット 1200」 「書き込み式ターゲット英単語ターゲット 1200」 「Workbook3」 ①プロのレーサーになるまでの動機や、その後の困難を理解する。S+V+C(that)、形式主語、形式目的語の用法を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	Lesson 7 The Origins of Halloween	①世界的な行事であるハロウィーンの成り立ちを理解し、見聞を広げる。関係代名詞と関係副詞の違いを理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	Lesson 8 Helping People through Robots	①ロボットの活躍の可能性を理解する。分詞構文の種類や、with を使った状態の表現を理解する。
	11		
	12		
後期期末	1	Lesson 9 Snowflake Bentley	①ベントレーが雪の結晶を見つける経緯を綴った伝記を読み深める。仮定法の種類を理解し、活用できるようにする。
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が英語を発する活動をできるだけ増やす。 英単語帳を使用し、語彙数を増やす。 				

【外国語科】

コミュニケーション

英語Ⅲ

履修学科	普通科(進学・文理看)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	「WORLD TREK Ⅲ」(桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Reading Focus ①～⑦	教材：「WORKD TREK Ⅲ Workbook」 「System 英単語 Basic」(駿台文庫) ① 長文読解の基礎を学ぶ②エマ・ワトソンの悩みと、それを乗り越えて現在に至る過程を読む。文章構造を理解する。③なぜ私たちはペットを飼うのか、列挙されている理由に注目して読む。
	5	Lesson 1 Emma Watson	
	6	Lesson 2 Why Do We Have Pets?	
前期期末	7	Lesson 3 The History of the Croissant	① クロワッサンの歴史について時間的順序を表す語句に注目しながら読む。②自由貿易について、農業国を工業国との比較を通じて基本的な理解を得るとともに、その問題点を読む。
	8	Lesson 4 Is “Free” the “Best” Trade?	
	9		
後期中間	10	Lesson 5 Experiments in Space	① 宇宙で行われている様々な実験がどのような問題を解決しようとしているかを読む。②中村哲さんが長年にわたり行ってきた支援活動について、出来事の原因と結果を押さえながら読む。
	11	Lesson 6 Turning a Desert into a Green Land	
後期期末	1	Lesson 7 The Power of Friendship	① 様々な調査結果から、友情が健康に与える影響はもっと評価されるべきという筆者の主張を理解する。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・3年間の総仕上げとして、単語や文法、長文の読解までを毎時間の授業にテーマを与えながら計画性を持って実力の養成に取り組んでいく。				

【外国語科】

英語探究C

履修学科	普通科（進学・文理）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	英文法ワークショップ

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	(1)システム英単語	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） ・単語テストは定期的に行う。
	5	(2)英文法ワークショップ 文の種類、動詞と文型、時制、完了形、 助動詞、受動態	(2)英文法ワークショップ ・高校基礎レベルの事項の復習をしながら、 受験範囲の文法事項の習得を図る。
	6		
前期 期末	7	(1) システム英単語	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） ・単語テストは定期的に行う。
	8	(2)英文法ワークショップ 不定詞、動名詞、分詞	(2)英文法ワークショップ ・高校基礎レベルの語彙を習得することによ って、読解問題に対応する基礎力を固め る。
	9		
後期 中間	10	(1) システム英単語	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫）
	11	(2)英文法ワークショップ 比較、関係代名詞、関係副詞	(2)英文法ワークショップ ・英語を理解し、表現するための文法力や運 用能力の育成を図る。 ・頻出構文の理解と定着を図る。
後期 期末	12 1 2 3	(1) システム英単語 (2)英文法ワークショップ 仮定法、否定、接続詞、代名詞、前置詞	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） (2)英文法ワークショップ ・センター試験、中堅私大レベルの内容に対 応できる基礎力を固めることを目標とする。

評価の割合	検査点 70% ・ 平常点 30%				
検査の実施	前期中間検査・前期期末検査・後期中間検査・後期期末検査				
平常点の評 価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	・単語テストは年間を通して行う。 ・実力模試や英検等に対応できる力を養うような内容であるため、予習・復習をきちんと行うこと。				

【外国語科】

英語探究 C

履修学科	普通科（未来創造、保育）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	ACTIVE LESSON

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	Unit 1 be 動詞 Unit 2 一般動詞 1 Unit 3 一般動詞 2	(1)基礎的な事項の復習をしながら、高校範囲の基礎的な事項の習得を図る。 (2)動詞の基本活用を習得し、表現できるようになる。 (3)時制を理解し、出来事の順序を正しく表現できるようにする。
	5	Unit 4 進行形 Unit 5 未来形	
	6	Unit 6 助動詞 Unit 7 命令文	
前期期末	7	Unit 8 疑問詞 Unit 9 代名詞 Unit10 比較	(4)形容詞の3つの比較変化を理解し、適切に選択することができる。 (5)受け身が使われる場合を理解し、動詞の過去分詞の習得に努める。 (6)動詞が名詞や形容詞などの他の品詞に代わって働くことを理解する。
	8	Unit11 受動態 Unit12 不定詞 1	
	9	Unit13 不定詞 2	
後期中間	10	Unit14 動名詞・分詞 Unit15 It の用法 Unit16 現在完了形 Unit17 関係代名詞	(7)感覚を表す動詞に注意して、文の構成を理解することができる。 (8)完了形が使われる3つの意味合いを理解し、過去分詞の習得に努める。
	11	Unit18 前置詞	
	12	Unit19 接続詞 Unit20 いろいろな文 Unit21 会話に特有の表現 Unit22 長文問題	
後期期末	1		(9)2つの語や2つの文をつなぐ様々な接続詞について整理する。 (10)英文の構造を整理し、英語の感覚を身につける。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・座学と実技のバランスや4技能のバランスをとるように留意する。 ・失敗を恐れずに積極的に表現しようとする態度で授業に取り組むことが望ましい。 				

【外国語科】

英語総合

履修学科	普通科（進学・文）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
教材	Pair&Share

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	(1) Lesson1 Morning (2) Lesson2 Breakfast	教材：Pair&Share システム英単語 Basic ・各場面を想定した会話表現に取り組むことで、実践的な会話能力を身につける。 ・英単語を継続して覚えていくことで、基礎力の向上を図る。
	5	(3) Lesson3 Going to school	
	6	(4) Lesson4 Waiting for the Train	
		(5) Lesson5 In the Classroom	
前期 期末	7	(1) Lesson6 P.E Class (2) Lesson7 Lunch Time	・国際理解を目的としたグループワークなどを取り入れることで、言語だけでなく文化的背景を理解できるようにする。 ・覚えた単語などを活用し、和訳や英訳の能力を身につけさせる。
	8	(3) Lesson8 Health Check	
	9	(4) Lesson9 Word Quiz	
		(5) Lesson10 Art Class	
後期 中間	10	(1) Lesson11 Cleaning Time (2) Lesson12 After School	・自分たちでオリジナルの場面設定などを行い、発表するなどして表現力を広げる。 ・ペアワークを活用し、ロールプレイなどに取り組む。
	11	(3) Lesson13 Soccer Club (4) Lesson14 On the Way Home	
		(5) Lesson15 Getting Ready for Dinner	
後期 期末	12	(1) Lesson16 Cleaning Up (2) Lesson17 Watching TV	・年間のまとめとして、自分がどのような力が付いたかなどを振り返る。 ・小テストなどの結果を確認し、弱かった部分などを復習させる。
	1	(3) Lesson18 Studying (4) Lesson19 Bath Time	
		(5) Lesson20 Bed Time	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国際理解的な内容も扱うことで、学習に対するモチベーションを高める。 ・会話表現をできるだけ多く活用し、実践的コミュニケーション能力を高める。 ・オリジナルの場面設定などを自分たちで考えさせるなど、自発的な思考や取り組みを向上させる。 ・英単語帳をベースに小テストを継続し、基礎力の向上に取り組む。 				

【家庭科】

子ども文化

履修学科	普通科・保育コース(子ども教育系)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「子ども文化」(教育図書)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・子ども文化とは何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性について理解する。 ・年中行事について理解し、それに関わる行事の由来や意味を学ぶ。 ・子どもの遊びの重要性及び遊びの種類と発達の関りについて理解する。
	5	・子どもと年中行事	
	6	・子どもと遊び	
前期期末	7	・子どもと表現活動	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の意義と特徴について学ぶ。 ・保育検定の内容を理解し取り組む。
	8	・保育教材制作	
	9	・保育検定	
後期中間	10	・子どもと文学 紙芝居・絵本	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に素話や絵本の読み聞かせを行い、実践力を養う。 ・子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性について学ぶ。
	11	・子どもと表現活動	
	12	・保育教材制作	
後期期末	1	・児童文化のための施設	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健全な遊びや表現活動を支える府代表的な施設を取り上げ、その意義と活用について理解する。
	2	・保育教材制作	
	3		

評価の割合	考查点 70% 実技点・平常点 30%				
考查の実施	前期中間・学年末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト			○		
留意事項	全国高等学校家庭科 保育技術検定				

【教科情報】

社会と情報

履修学科	普通科（未来創造、進学コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など		
前期中間	4 5 6	1章 情報社会と私たち 1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール 2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル ----- 3章 表現と伝達 1. 表現の工夫	・情報や社会の意味、特徴について学ぶ ・情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について学ぶ ・社会の情報化に伴い生じる問題について考え、理由と対処法について学ぶ ・情報機器の仕組みについて学ぶ ----- ・文書ソフトウェアを用いた文書作成を、実習で学ぶ	
	前期期末	7 8 9	2章 情報機器とデジタル表現 2. デジタル表現 4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション ----- 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	・アナログとデジタルの意味、情報量の単位について学ぶ ・ネットワークを活用したコミュニケーションの特徴と性質を学ぶ ----- ・表計算ソフトウェアを利用し、関数の利用等を実習で学ぶ
		後期中間	10 11 12	4章 コミュニケーションとネットワーク 2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ 5章 情報社会と問題解決 1. 情報システムと人間 ----- 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用
後期期末			1 2 3	5章 情報社会と問題解決 2. 問題解決 3. 情報発信 ----- 3章 表現と伝達 3. プレゼンテーション

評価の割合	考査 60% 実技および平常点 40%				
考査の実施	前期期末考査、学年末考査				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○	○		
	3 課題提出		○	○	○
	4 小テスト		○	○	○
留意事項					

【商業科】

課題研究

(商業計算応用)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	電卓の基礎とタッチメソッド	電卓キーの使い方 数字の練習 指の分担練習
	5	電卓の機能と計算	加減算・乗除算 GTメモリー計算 独立メモリー計算 パーセント計算 定数計算 逆数計算
	6		
前期期末	7	その他の計算	べき計算 時間計算 日数計算
	8	商業計算 その1	度量衡 外貨の計算 割合に関する計算 代価の計算 仕入原価の計算 定価の計算 売価の計算 利息の計算
	9		
後期中間	10	商業計算 その2	手形割引の計算 諸掛込原価・利益額・総売上高 利益率・値引率 仲立人の手数料計算 単利の計算 積数法 複利の計算 減価償却
	11		
学年末	12	商業計算 その3	静態比率 動態比率 損益分岐点 複利年金終価 複利年金現価 年賦金 積立金 利付債務 株式の売買計算 株式の利回り 株式の数値
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の定着度を測るために検定試験を一つの目標に学習します。 ・テキストは授業の時に提示します。 				

【商業科】

課題研究

(情報表現)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 アルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズムの基礎（仕組み）を学ぶ ・表計算ソフトウェア言語（VBA）の基礎を学ぶ（占い・電卓・じゃんけんゲームの作成）
	5	2 VBA 基礎	
	6		
前期期末	6	3 Python 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・Python の基礎を学ぶ（図形・占い・じゃんけんゲームを作成） ・PowerPoint の技術を学ぶ ・表現力、説得力、解説力を身につける
	7		
	8	4 プレゼンテーション 1	
後期中間	9		<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint の技術を使い、音楽に合わせて歌詞や画像を表示させる。 ・紙芝居をデータ化する
	10	5 プレゼンテーション 2	
学年末	11		<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint を使い、デジタル紙芝居を作り発表する。
	12	6 プレゼンテーション 3	
	1		

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト (発表)			○	○	
留意事項					

【商業科】

課題研究

(簿記会計)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	連結会計 支配獲得日の処理 棚卸資産以外に含まれる未実現利益の消去 (アップストリームとダウンストリーム) 連結2年度決算	・支配獲得日の処理や未実現利益の消去など 2年生で学習した内容の復習を行います。 その後、連結2年度決算について学習を進めていきます。
	5		
	6		
前期期末	7	有価証券 子会社株式 関係会社株式 その他有価証券 保有目的変更	・有価証券の評価方法について学びます。 ・全部純資産直入法や部分純資産直入法などの評価方法についても学習し理解を深めていきます。
	8		
	9		
後期中間	10	税効果会計 差異(一時差異)の会計処理 繰延税金資産 繰延税金負債 損金 益金算入・不算入 税効果会計適用に関する仕訳	・企業会計上の「収益・費用」と法人税法上の「益金・損金」の目的の相違によるその範囲および認識時点の差異の処理方法について学びます。
	11		
学年末	12	為替換算会計 外貨建取引 二取引基準 一取引基準	・外貨換算の基礎について学習します。 ・外貨建取引、決算時の処理および為替予約について学習を深めていきます。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次の復習をしながらゆっくり学習を進めていきます。 ・財務会計Iの学習をさらに発展させたものになりますので、会計の知識をさらに深めたい人の履修をお願いします。 				

【商業科】

課題研究

(販売管理)

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 小売業の種類 2 マーチャンダイジング	<ul style="list-style-type: none"> 小売業の主要な形態や特性について学習します。 商品の基本や管理、販売計画、仕入計画、価格設定などについて学習します。
	5		
	6		
前期期末	7	3 ストアオペレーション	<ul style="list-style-type: none"> 商品陳列の方法、ディスプレイの機能などについて学習します。
	8		
	9		
後期中間	10	4 マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> 顧客満足を達成するための経営、売場づくりなどについて学習します。
	11		
学年末	12	5 販売・経営管理 6 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 販売員の役割や法令知識、店舗の管理などについて学習します。 これまで学んだ内容の復習などを通して、販売活動のまとめを行います。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 使用教材は授業で提示します。 日商リテールマーケティング検定試験や全商商業経済検定試験にも触れながら学習していきます。 				

【商業科】

ビジネス経済応用

履修学科	商業科(進学ライセンスコース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	ビジネス経済応用(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 サービス経済化とサービス産業 2 経済の国際化(1・2節)	<ul style="list-style-type: none"> 我が国における産業構造の変化及びサービス産業の現状を取り扱い、サービス経済化の動向と課題について理解させる。 国際収支の現状などを取り扱い、経済の国際化の動向と課題について理解させる。
	5		
	6		
前期期末	7	2 経済の国際化(3・4・5節) 3 金融市場と資本市場	<ul style="list-style-type: none"> 貿易、国際資本移動の現状などを取り扱い、経済の国際化の動向と課題について理解させる。 金融市場と資本市場の役割や金融取引の発達などを取り扱い、金融市場と資本市場の動向と課題について理解させる。
	8		
	9		
後期中間	10	4 企業経営	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の経済成長を支えた企業経営の特徴と変化、企業の海外進出の現状、企業の社会的責任などを取り扱い、企業を取り巻く環境の変化に対応した企業経営について理解させる。
	11		
学年末	12	5 ビジネスの創造と地域産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 起業の手の概要、新たなビジネスの展開の現状及び身近な地域のビジネス事情を取り扱い、ビジネスの創造や地域産業の振興に取り組む能力と態度を育てる。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を一つの目標に学習します。 2月 全国商業高等学校協会主催商業経済検定(ビジネス経済B) 				

【商業科】

経済活動と法

履修学科	商業科（情報ビジネスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	経済活動と法（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 経済社会と法 2 権利・義務と財産権	<ul style="list-style-type: none"> ・経済社会における法の意義や役割、経済環境の変化と法の改正を取り扱い、秩序を維持し経済社会を発展させる上での法の重要性について理解する。 ・権利と義務、物権と債権及び知的財産権の概要を取り扱い、法に基づき適切に権利を行使し、義務を履行するための基礎的な知識を習得する。
	5		
	6		
前期期末	7	3 財産権と契約そしてその保護	<ul style="list-style-type: none"> ・売買契約や貸借契約など取引に関する法を取り扱い、法に基づき適切に取引を行うための基礎的な知識を習得する。
	8		
	9		
後期中間	10	4 企業活動に関する法	<ul style="list-style-type: none"> ・会社の種類及び株式会社や資金調達に関する法などを取り扱い、法に基づき適切に企業経営を行うための基礎的な知識を習得する。
	11		
学年末	12	5 取引に関する法 6 企業の責任と法	<ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守及び紛争の予防と解決、消費者保護、雇用に関する法を取り扱い、法に基づき責任をもって企業活動を行うための基礎的な知識を習得する。
	1		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間 ・ 前期期末 ・ 後期中間 ・ 学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【商業科】

情報デザイン

履修学科	商業科
履修学年	第2・3学年(情報) 第3学年(進学)
履修形態	必須
履修単位	2・3年情報各2単位、3年進学3単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションでは、社会人としてのパソコンによる文書作成の重要性、必要性について学習します。 ・タイピングでは、タッチタイピングを身に付け、正確に打てるよう練習をします。 ・文書作成実習では、ビジネス文書の作成方法を学習します。
	5 タイピング実習	
	6 文書作成実習	
前期期末	7 機械・機械操作	<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトにおける操作方法、用語を学習します。 ・ビジネス(企業)における各種文書の内容、作成に関わる知識を学習します。
	8 文書の種類・作成	
	9	
後期中間	10 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション(発表)を行ううえでの、準備・作成方法・発表の仕方を学習します。 ・文書を作成する者として知っておきたい、日本語の知識を学習します。
	11 ことばの知識	
学年末	12 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の総復習として、習得した技術・知識を確認し、個々のレベルに合わせて、問題演習を行います。
	1	
	2	
	3	

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間(第3学年のみ)・前期期末・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマンにとって必要不可欠な文書の作成方法、作成にあたって知っておきたい日本語の使い方を学習します。 ・パソコンでの実習が主となりますが、教室での座学を行うこともあります。 ・テキストについては、授業の際に提示します。 				

【商業科】

ビジネス教養

履修学科	商業科（情報ビジネスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	第1章 職業観と企業	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を構成する社員一人ひとりに必要とされる資質について学習する。 ・仕事をする上で目標をもつ重要性と業務改善の必要性について学習する。 ・社会人として必要な社会常識を身につける。 ・職場を良好にするコミュニケーションについて学習する。
	第2章 仕事の進め方	
	第3章 一般知識	
	第4章 職場の人間関係	
前期期末 7 8 9	第5章 社会人としての話し方	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスで使う敬語と相互理解を深めるための効果的な話し方について学習する。 ・ビジネス文書の種類や書き方などのルールを身につける。
	第6章 ビジネス文書	
後期中間 10 11	第7章 職場のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の一員として仕事がスムーズに進むために必要なマナーを身につける。 ・接遇をする立場、訪問する立場のマナーについて学習する。 ・ビジネスコミュニケーションとしての電話応対や携帯電話のマナーを学習する。
	第8章 接遇マナー	
	第9章 電話応対	
学年末 12 1	第10章 交際業務	<ul style="list-style-type: none"> ・社内外や企業同士との交流を深める重要性を学習する。 ・会議に出席する心構えと開催する際の手順を学習する。 ・ビジネスにおいて重要な郵便知識を学ぶ。 ・効率の良い文書整理や保管、秘文書の扱いについて学習する。
	第11章 会議	
	第12章 郵便の知識	
	第13章 ファイリング	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の定着度を測るために検定を受験することがあります。 ・テキストは授業の時に提示します。 				

【商業科】

簿記会計研究

履修学科	商業科（進学ライセンスコース）
履修学年	第3学年
履修形態	選択
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	各種財務諸表 株主資本変動計算書	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生で学習したものの復習をします。 ・財務諸表分析では、有価証券報告書等を使用した実践を行い、実教法や百分比法、趨勢法などをを用い分析を行います。
	5	財務諸表分析	
	6	ソフトウェア取引 リース会計	
前期期末	7	デリバティブ取引 デリバティブ デリバティブ取引における債権債務	<ul style="list-style-type: none"> ・金融商品の確認 ・金融商品から派生して生まれた取引や、その会計処理について学習します。
	8	先物取引 契約時・決算時・決済時の会計処理	
	9	スワップ取引 契約時・決算時・決済時の会計処理 オプション取引 契約時・決算時の会計処理	
後期中間	10	ヘッジ会計 繰延ヘッジ	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が活動を営む中で起こるであろう将来のリスクを少なくしたり、回避するための会計処理について学習します。
	11	時価ヘッジ	
学年末	12	キャッシュフロー会計 キャッシュフロー計算書の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・お金（キャッシュ）の流れ（フロー）を計算するための財務諸表です。 ・キャッシュフロー計算書は、今までに学習した貸借対照表や損益計算書と密接に関係しています。
	1	キャッシュフロー計算書の作成目的 対象とする資金の範囲 キャッシュフロー計算書の区分	

評価の割合	考查点 70 %	平常点 30 %			
考查の実施	前期中間 ・ 前期期末 ・ 後期中間 ・ 学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生の学習を振り返りながら、ゆっくり進めていきます。 ・より高度な会計知識の学習を通し、高い実践力を身に付けたい人の履修をお願いします。 				

【商業科】

情報研究

履修学科	商業科
履修学年	第3学年
履修形態	必修(情ビ)・選択(進ラ)
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 テクノロジ系 (IT 技術)	<ul style="list-style-type: none"> ・ITの基礎となる数学からPCの仕組み、アルゴリズム、セキュリティ、ネットワーク、データベースまで、IT技術に関する知識を習得する。
	5		
	6		
前期期末	7	2 マネジメント系 (IT 管理)	<ul style="list-style-type: none"> ・システムやソフトウェア開発プロジェクトのマネジメント方法について、開発の手法や流れ、プロジェクトの管理方法、システム監査の概要や流れなどの知識を習得する。
	8		
	9		
後期中間	10	3 ストラテジ系 (経営全般)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業活動や法務、経営、企業のシステム戦略について、経営の基本から知的財産権、個人情報保護などの法務や、経営戦略やマーケティングに関する知識を習得する。
	11		
学年末	12	4 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート試験の問題演習を通して知識の定着を図り、ITを活用する際に備えておくべきITに関する基礎的・基本的な知識と態度を身に付ける。
	1		

評価の割合	考查点 60%	平常点 40%			
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業クラスは習熟度別に編成します。 ・学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を一つの目標に学習します。 ITパスポート試験 (国家資格) 9月、1月 全国商業高等学校協会主催 情報処理検定 				

【美術科】

クラフト

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	選択 ※素描探究
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈オリエンテーション〉 陶芸・七宝・染織について	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸・七宝・染織の中から1種類選択 ・各工芸分野の基礎技法を経験する。
	5	〈基礎演習Ⅰ〉 陶芸基礎：手びねり技法 等	
	6	七宝基礎：フリット・マーブル技法 等 染織基礎：絞り染め技法 等	
前期期末	7	〈基礎演習Ⅱ〉 陶芸基礎：電動ろくろ技法 等	<ul style="list-style-type: none"> ・各工芸分野の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	8	七宝基礎：銀箔七宝／かきわり七宝 等	
	9	染織基礎：ステンシル・糊染め技法 等	
後期中間	10	〈応用演習Ⅱ〉 陶芸応用：手びねり技法	<ul style="list-style-type: none"> ・各工芸分野の応用技法を追究し、オリジナル作品を制作し発表する。
	11	電動ろくろ技法 等	
	12	七宝応用：フリット・マーブル技法 銀箔七宝／かきわり七宝 等 染織応用：絞り染め技法 ステンシル・糊染め技法 等	
後期期末	1		<ul style="list-style-type: none"> ・作品の鑑賞・講評から工芸分野の理解を深め、作品等をポートフォリオにまとめる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価70% 平常点30%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (30%)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 制作ノート	○	○	○	○	
留意事項					

【美術科】

美術史

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈西洋美術史〉 ルネサンス以前 ルネサンス バロック・ロココ	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して西洋美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	〈西洋美術史〉 ロマン主義～印象派 世紀末美術 20世紀以降の美術	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して西洋美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。 また、各自あるアーティストについて調べてまとめることで理解を深める。
	8		
	9		
後期中間	10	〈日本美術史〉 先史・古墳時代の美術 古代美術（飛鳥時代～平安時代） 中世美術（鎌倉時代～室町時代） 近世美術（桃山時代～江戸時代）	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。
	11		
	12		
後期期末	1	〈日本美術史〉 近代と現代の美術（明治時代～昭和時代） 戦後の美術 現代美術	毎回いくつかの作品を取り上げ、鑑賞を通して日本美術史についての基本知識を身につける。専門用語、ジャンルや時代区分を知り、各時代の代表的な作品の特徴を理解する。 また、各自あるアーティストについて調べてまとめることで理解を深める。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価80% 平常点20%					
考査の実施	なし					
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点				
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解	
		1 授業態度	○	○		○
		2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○	
留意事項						

【美術科】

素描

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈静物デッサンⅠ〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 基本形態の理解を深める。 形や空間を正確に描写し、明暗による立体的な表現を学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	5	〈構成デッサン〉	
	6	静物	
前期期末	7	〈石膏デッサン〉 石膏像（胸像） 形・明暗・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 石膏像を注意深く観察し、構図や形、明暗、材質といった要素を総合的に学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	8	〈構成デッサン〉	
	9	自画像	
後期中間	10	〈静物デッサンⅡ〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> 様々なモチーフの形体や関係性、空間などを意識しながら描く。 材質の違うモチーフをよく観察してデッサンを仕上げる。
	11		
	12		
後期期末	1	〈人物デッサン〉 人体の理解 構図・プロポーションの理解	<ul style="list-style-type: none"> 人物モデルをスケッチすることで人体の構造の理解を深める。 構図やプロポーション、動きなどを意識しながら描く。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	2	〈構成デッサン〉	
	3	手	

評価の割合	課題評価（考査含む）80％ 平常点20％				
考査の実施	年3回実施 前期中間・前期期末・後期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【美術科】

素描探究

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	選択 ※クラフトとの選択
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	〈素描演習Ⅰ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 静物デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 基本形態の理解を深める。 形や空間を正確に描写し、明暗による立体的な表現を学ぶ。
	5		
	6		
前期期末	7	〈素描演習Ⅱ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 静物デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 構図や形、明暗、材質といった要素を総合的に学ぶ。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	8		
	9		
後期中間	10	〈素描演習Ⅲ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 構成デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 様々なモチーフの形体や関係性、空間などを意識しながら描く。 材質の違うモチーフをよく観察してデッサンを仕上げる。
	11		
	12		
後期期末	1	〈素描演習Ⅳ〉※各自の課題を設定 石膏デッサン 構成デッサン 静物着彩	<ul style="list-style-type: none"> 構図やプロポーション、動きなどを意識しながら描く。 与えられたモチーフを構成し、時間内にデッサンを仕上げる。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	なし				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【美術科】

グラフィック応用

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	I. デジタルコンテンツ制作の仕事 ・デザイナーの仕事 ・Web デザインと制作ワークフロー	デジタルコンテンツ制作の現場における実際のワークフローに準じ、仕事の内容や注意点などを理解する。 また、Adobe Illustrator、Photoshop 等のソフトウェアを使用し、コンテンツ企画～デザイン～プレゼンテーションまでを行う。
	4	
	5 6	
前期末	II. Web デザイン&制作(1) ・HTML、CSS、JavaScript について ・Dreamweaver の基本操作	Adobe Dreamweaver を使用し、HTML、CSS の基礎を学びながら、Web ページの制作を行う。
	7	
	8 9	
後期中間	III. Web デザイン&制作(2) ・Web ページ制作(2) ・JavaScript を使った動きの追加	II で制作した Web サイトを更に発展させ、JavaScript を用いた動きのあるサイトを制作する。 また、FTP を使った Web サイトの公開や、CMS の仕組みを理解する。
	10	
	11 12	
後期末	IV. デジタルコンテンツの広がり ・デジタルコンテンツ体験	ワークショップとして様々なコンテンツを体験し、コンピュータ・グラフィックとデジタルコンテンツがどのように関わり、社会と結びついているかを総合的に学ぶ。
	1	
	2 3	

評価の割合	課題評価点 80% 平常点 20%				
考査の実施	実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
3 課題提出	○	○	○	○	
留意事項	考査を行わず、課題評価と平常点で評価を行います。授業にしっかり取り組み、課題は必ず提出するようにしてください、				

【美術科】

専攻実習応用

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	応用演習Ⅰ ※領域を選択 美術領域応用（洋画・日本画・版画） デザイン領域応用（デザイン応用Ⅰ） 総合造形領域応用（塑像応用Ⅰ） 映像領域応用	<ul style="list-style-type: none"> 洋画・日本画・版画技法や表現方法を研究し、課題作品を制作します。 デザイン領域における課題作品を制作し、プレゼンテーション発表を体験します。 立体に対する観察力を深め基礎的な造形力と創造的な感覚を養います。 映像作品を制作し、プレゼンテーション発表します。
	5		
	6		
前期期末	7	応用演習Ⅱ ※領域を選択 美術領域応用（洋画・日本画・版画） デザイン領域応用（デザイン応用Ⅱ） 総合造形領域応用（塑像応用Ⅱ） 映像領域応用	<ul style="list-style-type: none"> 洋画・日本画・版画技法や表現方法を研究し、課題作品を制作します。 デザイン領域における課題作品を制作し、プレゼンテーション発表を体験します。 立体に対する観察力を深め基礎的な造形力と創造的な感覚を養います。 映像作品を制作し、プレゼンテーション発表します。
	8		
	9		
後期中間	10	応用演習Ⅲ ※領域を選択 〈課題研究①〉 美術領域の技法研究 デザイン領域の技法研究 総合造形領域の技法研究 映像領域の技法研究	<ul style="list-style-type: none"> 美術領域、デザイン領域、総合造形領域、映像領域における表現・技法等を研究し、独自の表現を迫ります。 作品を卒業制作展で発表します。
	11		
	12		
後期期末	1	応用演習Ⅳ ※領域を選択 〈課題研究②〉卒業制作展まとめ ポートフォリオの完成	<ul style="list-style-type: none"> 作品の鑑賞・講評から各専攻実習を振り返ります。 3年間の作品及び活動記録をポートフォリオとして完成させます。 作品を卒業制作展で発表します。
	2		
	3		

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	年3回実施 前期中間・前期期末・後期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

【教養】

未来創造基礎

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	未来を考える 社会で役立つ知識や技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の将来の進路について具体的に考える。 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 マナーについて。 他国の習慣、国際的問題を学ぶ。
	5	・文章の読み、書き	
	6	・マナーと礼法 ・国際理解	
前期 期末	7	社会で役立つ知識や技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 社会人に必要なマナーを身につける。 他国の習慣、国際的問題を学ぶ。
	8	・文章の読み、書き	
	9	・マナーと礼法 ・国際理解	
後期 中間	10	社会で役立つ知識や技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 マナーについて。 他国の習慣、国際的問題をまとめる。
	11	・文章の読み、書き	
	12	・マナーと礼法 ・国際理解	
後期 期末	1	社会で役立つ知識や技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> 日常使う言葉やマナーを学ぶ。 身近な話題に興味を持ち、自分の考えを持つ姿勢を養う。 社会人に必要なマナーを身につける。 他国の習慣、国際的問題を発表する。
	2	・文章の読み、書き ・マナーと礼法 ・国際理解	

評価の割合	小テスト・レポート・課題評価70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
	4 小テスト	○	○	○	○
留意事項	追試については定期考査期間中に行う。				

【教養】

未来創造応用 C

(自動車領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> 自動車にかかわる仕事と目指し方 自動車整備について 見学（ディーラー、用品販売店、整備学校） 自動車の種類と概要 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車にかかわる仕事について、実際に企業や学校を見学し、いろいろな職業があることを知る。 自動車の歴史や種類、概要についてスライド等を用いて学ぶ。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の基礎（エンジン、動力伝達装置、操舵・懸架装置） 実技応用（実車を用いた仕組みの確認や日常点検） 	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の仕組みについて、スライド等を用いて学ぶ。 実車を見ながら、学んだ自動車の仕組みや日常点検等について知る。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> 実技応用（エンジンの分解・組立実習） 自動車応用（HV・EV・FCV） （予防安全技術・運転支援技術） 	<ul style="list-style-type: none"> エンジンの分解・組立実習を行い、座学で学んだ仕組みについて確認を行う。 先進技術や予防安全技術についてスライド等を用いて学ぶ。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> 自動車総合 	<ul style="list-style-type: none"> 一年間学んだ内容について実車を見ながら確認、実技テスト等を行う。
	2		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出		○		○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	実習の時には制服、ジャージ等TPOに応じた服装を指示するので守ること。毎回レポートを課すので、きちんと提出すること。				

【教養】

未来創造応用 C (フード領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション (授業内容・職業観等) ・食の歴史と文化 (1) ・食の歴史と文化 (2) ・実習 (栽培を含む) ・マナーとディスプレイとコーディネート(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容を理解し、実習を通して、職業の種類について知る。 ・日本をはじめ、世界の食べ物の歴史と文化を知る。 ・校内の畑を利用し、季節の野菜等を栽培する。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・食品・食材の特性と性質 ・実習 (1) ・実習 (2) ・マナーとディスプレイとコーディネート(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋食や洋菓子・和食や和菓子で使用する材料や道具、下準備などの基本的なことを理解し、実習に取り組む。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・実習 (3) ・実習 (4) ・マナーとディスプレイとコーディネート(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物の入れ方やいただき方、ラッピングの仕方を理解し、身につける。 ・野菜の収穫を行い、調理へと結びつける。 ・お菓子等の陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーとディスプレイとコーディネート(4) ・実習のまとめ ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・陳列や接客の仕方を学び、実践・体験する。 ・実習等を通し職業について考える。
	2		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○		○	
	3 課題提出	○	○		○
4 レポート・小テスト		○		○	
留意事項					

【未来創造応用科目】

未来創造応用 C

(ものづくり領域)

履修学科	普通科未来創造コース
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・ものづくり（クラフト）の仕事とは ・〈クラフト体験Ⅰ〉 ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり（クラフト）の仕事を理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を体験しものづくりの楽しさを味わう。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・工房見学 仙台の伝統工芸 ・東北生活文化大学との連携Ⅰ 工房見学 ・社会に広がるものづくりのデザインについて ・クラフト体験Ⅱ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する工房や施設を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・現代工芸展鑑賞 ・東北生活文化大学との連携Ⅱ 体験授業 ・クラフト体験Ⅲ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりに関する展覧会等を見学し、ものづくりの歴史や伝統的な技法について理解する。 ・各工芸分野（陶芸・七宝・選択）の基礎技法を習得し、課題作品を制作する。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラフト体験Ⅳ ※年間ローテーションで陶芸・七宝・染織の3分野を体験 ・作品鑑賞と講評会 ・まとめ 現代におけるものづくり（クラフト）の役割について 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが制作した作品の鑑賞・講評からものづくりの楽しさをあらためて味わう。 ・現代におけるものづくりの役割を理解する。
	2		

評価の割合	レポート点 40%、実技・作品点 40%、平常点 20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○		○	○
	4 レポート・小テスト		○	○	○
留意事項					

【教養】

未来創造応用 C (IT 情報)

履 修 学 科	普通科 (未来創造コース)
履 修 学 年	第3学年
履 修 形 態	必修
履 修 単 位	2単位
教 科 書	

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ帳でホームページを作ってみよう ～HTMLの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの入門として HTML の基礎を学習し、オリジナルのホームページを作成することにより、プログラマー、WEB デザイナー、情報の発信におけるモラルやマナーを身に付ける。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・エクセルのマクロを使って簡単なゲームを作ってみよう ～VBA プログラミングの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な表計算ソフト「エクセル」を使って基本的なプログラミングを学習し、アルゴリズムなど論理的な思考を身に付けるとともに、社会人として仕事におけるエクセルの効率的な使い方、ゲームクリエイターやアプリケーション開発について体験する。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ HTML を使って商品紹介ホームページを作成しよう ～情報発信の基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期で作成したアプリケーションを紹介するホームページを作成することにより、商品分析、広告宣伝業務について触れ、情報を発信する際の工夫の仕方を学習する。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使って気になるニュースを解説しよう ～プレゼンテーションの基礎～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフト「パワーポイント」を利用し、情報をいかに相手にわかりやすく伝えるか、パワーポイントの活用法を学習し、それを発表することでプレゼン能力の向上を図る。
	2		

評価の割合	レポート点 50% 実技点 40% 平常点 10%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (10点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○		
留意事項	プログラミングは基本的にアルファベットを使用します。				

【教養】

未来創造応用 C

(健康福祉領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（授業内容・職業） ・ライフステージについて ・介護福祉士・社会福祉士・視能訓練士 ・盲導犬について 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉」について理解する。 ・人の体や病気について知り、健康増進につながる様々な事を学ぶ。 ・各ライフステージについて学習する。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・医者について ・養護教諭について ・孤児に対する仕事について ・歯医者について 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療に関する仕事に関して学習する。 ・各年代を支える仕事を知る。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師について ・死に関する職業について ・アロマセラピーについて ・健康の定義について ・防災について 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害について学び、理解する。 ・福祉用具や福祉環境を知り、体験しながらユニバーサルについて考える。 ・香りが持つ効果について学ぶ。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりとレクリエーション ・もし飯、防災食体験 ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の仕事について知る。 ・災害時のことについて考える。
	2		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	項目の内容は前後することがあります。				

【教養】

未来創造応用 C

(ミュージック領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期 中間	4	・オリエンテーション	
	5	・音楽が関わっている仕事について	
	6	・音楽と職業について① 音楽療法等について・講話と実践（外部講師） ・ヴォーカル（実技） ・楽典 小テスト	・興味がある分野の仕事について調べる。 ・医療・福祉・保育などの現場で活躍している仕事、また癒しとしての音楽の世界を学ぶ。 ・ヴォーカル体験で自己表現を学ぶ。 ・楽典の基礎を学ぶ。
前期 期末	7	・音楽と職業について② エンタメ系の講話と実践（外部講師）	・エンタテインメントの世界からミュージックのかかわりを考える。 ・リハーサルを見学し、体感する。 ホールや施設、舞台裏の見学 ・まとめのレポート
	8	・ミュージカル公演の舞台裏見学	
	9	・前期のまとめ	
後期 中間	10	・日本の歌謡曲やJ-POPの歴史	・日本の歌謡曲～J-POPの流れを知る。 ・童謡の弾き歌いや連弾を体験する。 ・基礎的なメロディ、コードを学ぶ。 ・連弾を通してコミュニケーションと表現を学ぶ。
	11	・キーボード体験	
	12	・ギター体験 ・連弾アンサンブル	
後期 期末	1	・連弾アンサンブル発表	・ミッションインポッシブルの連弾。 発表の体験をする。 ・まとめのレポート
	2	・一年間のまとめ	
	3		

評価の割合	レポート・実技・小テスト点80% 平常点20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○	○	
留意事項	レポート提出が評価の中心です。				

【教養】

未来創造応用 D

(ビューティー領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> カット実習 スタイリング実習 (ブロー、アイロン) セッティング技術 (三つ編み、編み込み) メイクアップ技術 (ナチュラルメイク) 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	5		
	6		
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> 浴衣着付け ヘアアレンジ実習 ネイル技術 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	8		
	9		
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ワインディング技術 美容の社会貢献活動 エステティック技術 (ハンドエステ) 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。
	11		
	12		
後期 期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ヘアカラー実習 まつ毛エクステンション技術 流行メイク演習 	<ul style="list-style-type: none"> 理容師、美容師、ビューティー系の仕事について知る。 実習を通して技術を体験する。また、学んだことを今後の進路に役立てる。
	2		

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○		○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(栄養領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション（内容・実習・職業観）	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を学ぶことで就くことが可能な職業について知る ・食事は、栄養を供給し生命の維持や健康の増進を図るための大切な行為であることを理解し、自分の食生活を振り返る。 ・食べ物がどのように栄養になるのかを知る。
	5	・私の食生活	
	6	・体内に入った食べ物の動き	
前期 期末	7	・栄養素の種類と働き	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素の種類と働きについて知識を習得する。 ・食物の特徴、取り扱い方を学ぶ。 ・世界の調理の特徴を知る。
	8	・食物の基礎を学ぶ	
	9	・世界の料理	
後期 中間	10	・乳幼児食について	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児から高齢期までの各ライフステージ毎の体の状態を理解し、その時に必要な栄養の特徴、食生活上の留意点などを知り、実習などを通して理解を深める。 ・栄養士としての知識をどのように生かしていくかを知る。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・病人食 ・栄養士の学び 	
後期 期末	12	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルマナー・テーブルコーディネート 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事を提供するときの雰囲気づくりが食卓にどう影響するかを学ぶ。 ・実際のテーブルセッティングの方法などを体験する。 ・栄養士の方の職場を知り、理解を深める。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の現場を知る ・まとめ 	

評価の割合	レポート・実技点 70% 平常点 30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○		○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(CG デザイン領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	・オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・CG・デザインの概念を理解する。 ・CG・デザインの仕事の広がりを理解する。 ・PCの基本操作を理解する。
	5	・CG・デザインとは何か	
	6	・職業理解 ・PC、デザインツールの基本操作 ・デザインツールを知る ・まとめ・レポート	
前期 期末	7	・デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの基本的なルールを学習する。 ・実際にデザイナーが使用するツールを使ってデザインプロセスを体験する。 ・3DCG ソフトを使ったモデリングを体験する。
	8	・CG・デザインの作品鑑賞	
	9	・Illustrator を使った制作実習 ・3DCG 制作体験 ・まとめ・レポート	
後期 中間	10	・CG・デザインの作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にデザイナーが使用するツールを使ってデザインプロセスを体験する。 ・アニメーションの基本原理を理解し、どのように使われているかを学ぶ。
	11	・PhotoShop の使い方	
	12	・PhotoShop、Illustrator を使った制作実習 ・アニメーションについて	
後期 期末	1	・アニメーション制作実習	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にアニメーション制作を体験する。 ・CG・デザインの分野がテクノロジーと結びつき、どのような表現ができるかについて考える。
	2	・CG・デザインとテクノロジー ・まとめ・レポート	

評価の割合	課題評価点（小テスト・レポートを含む）80%、平常点 20%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項	各項目の内容は前後することがあります。 実技課題の取り組みが評価に大きく影響します。				

【教養】

未来創造応用 D

(ビジネス領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション「伝える」と「伝わる」 ・働くとはどんなことか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい働き方は必要なのか、働く意義、働くことは楽しいことなのかを考えさせる。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 1 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーについて学ぶ。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナー 2 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマナーについて学び、見聞を広める。
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしい働き方 ・自分らしさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさをみつけ、どのような働き方をしたいのか、どんな仕事をしたいのか、どんな大人になりたいのかを考えさせる。
	2		

評価の割合	課題評価点（小テスト、レポート含む）70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出		○	○	○
4 レポート・小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(健康スポーツ領域)

履修学科	普通科（未来創造コース）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・スポーツに関する職業について ・テーピングについて（実技テスト） ・スポーツトレーニングについて ・在仙プロスポーツ職場体験・講演など ・評価（筆記試験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに関わる職業・資格について知る ・テーピングの知識を理解し、技術を習得する。 ・スポーツにおけるトレーニングの知識を理解し、実際にトレーニング方法を学ぶ。 ・プロスポーツの施設の仕事や実際の話聞き、理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系学校見学 ・体育・スポーツ系大学専門学校を説明会 ・スポーツ栄養について ・評価（筆記試験） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系専門学校を訪問し、学校の特色などを理解する ・様々なスポーツ関係の大学・専門学校などの特色や内容を理解する。 ・スポーツにおける食事や栄養の大切さを学ぶ。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> ・応急処置・救急救命について ・体育学（体のづくり・筋肉の動かし方） ・体幹トレーニング ・メンタルトレーニング ・評価（筆記試験）について ・大会運営仕方について 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の知識を理解し、心肺蘇生法やAEDの使用の仕方などを学ぶ。 ・人間の体の仕組みや筋肉の動かし方について学び体幹トレーニングについて知識や技術を学ぶ。 ・メンタルトレーニングの知識を理解する。 ・トレーニングについての知識を学び、体幹トレーニングの実践
	11		
	12		
後期期末	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営について ・1年間の反省 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の競技の運営に携わり大会を実施する。（役割分担・トーナメント・対戦表作成・運営）
	2		
	3		

評価の割合	課題評価点（実技・小テスト・レポートを含む）70%、平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

【教養】

未来創造応用 D

(ファッション領域)

履修学科	普通科 (未来創造コース)
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	・オリエンテーション・職業について	<ul style="list-style-type: none"> ・職種の紹介 (ファッションに関わる仕事)。 ・流行の流れについて知り、ファッションへの影響を理解する。 ・販売戦略と消費者心理について知る。 ・フレームの形・色・男女別・年齢別による合わせ方を理解する。
	5	・布を作るとは	
	6	・流行とはなにか ・接客販売と消費者の心をつかむには ・メガネとアパレルについて	
前期末	7	・制服ができるまで関わる仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・服ができるまでの行程を理解し、制作するまで関わる仕事について知る。 ・最新の繊維を知り、汚れの種類と手入れの仕方を修得する。 ・SDGsを理解し、単に利益重視ではいけないということを学び、実践する。
	8	・繊維と汚れ・洗濯について	
	9	・SDGsとは	
後期中間	10	・デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション誌・HP・SNSでどのように宣伝するのかを理解する。 ・衣服だけではアパレルは成り立たないということを知り、アクセサリーの種類などを知る。 ・アクセサリーをデザインし、制作する。 ・色について知り、職業に生かすための目を養う。
	11	・アクセサリーとアパレル	
	12	・アクセサリーを作る ・パーソナルカラーを知る	
後期末	1	・VMD ・小物制作	<ul style="list-style-type: none"> ・VMDという職種を知り、演習する。 ・まとめ
	2	・ファッションの仕事のまとめ	

評価の割合	レポート・実技点70% 平常点30%				
考査の実施	定期考査期間には実施しない				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○		○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 レポート・小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

【教 養】

看護医療探究

履修学科	普通科（進学コース看護医療系）
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> 看護・医療学総論 <ol style="list-style-type: none"> 看護の本質 看護倫理 公衆衛生看護 成人看護学概論 災害看護学総論 	<ul style="list-style-type: none"> 看護の定義、看護の対象、看護の機能と役割を理解する。また、医療系分野において幅広い知識を習得する。 看護活動の分野、看護職とその倫理を理解する。 医療系分野において幅広い知識を習得する。 応急処置から災害時における看護について、幅広く理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護学総論 母性看護学総論 臨床工学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 小児看護の機能と意義や問題点を理解する。 広く女性の一生を視野に入れた性と生殖に関する健康問題とその看護について学習する。 生命維持管理装置などの解説を通し、臨床工学技士の仕事内容や役割を理解する。
	8		
	9		
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> 言語聴覚学 視能検査機器概論 リハビリテーション概論 <ol style="list-style-type: none"> 理学療法 作業療法 	<ul style="list-style-type: none"> 言語発達学を通し、言語聴覚士の仕事内容や役割を理解する。 視能検査機器などの解説を通し、視能訓練士の仕事内容や役割を理解する。 リハビリテーション分野の知識の習得とその現状について理解する。
	11		
学年末	12	<ul style="list-style-type: none"> 生命倫理学 チーム医療論 	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事者と生命倫理について、時事問題などを通して理解する。 現代医療の問題などを含め、チーム医療の重要性を理解する。
	1		

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	前期中間・前期期末・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト・レポート	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 看護医療系連携講座として職業理解も含めた、外部講師による模擬講義を実施。 演習については、真摯な姿勢で取り組み、レポートや報告書はしっかり書くこと。 				

総合的な探究の時間

テーマ「進路探究」

履修学科	普通科，美術デザイン科
履修学年	第3学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
テキスト	志望理由書 自己PR文完成ノート

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 ○志望理由書・自己PR文演習	3年生のねらい 進路を知り，自分の未来を描きながら進路実現を目指す。 ①自己を知る ②目標 ③動議 ④過程 ⑤進路先とのマッチング ⑥段落構成
	5 ○高大連携模擬授業1	大学での学びを体験し，進路探究を深める。
	6 ○看護医療講習 ○栄養講習 ○就職ガイダンス (自己開拓・公務員含) ○志望理由書テスト	医療従事者としての心構えや資質を学ぶ。 栄養士・管理栄養士としての心構えや資質を学ぶ。 就職する上での心構えや資質について学ぶ。
前期期末	7 ○志望理由書・自己PR文演習	志望理由書テスト振り返り
	8 ○高大連携模擬授業2	大学での学びを体験し，進路探究を深める。
	9 ○看護医療講習 ○栄養講習 ○就職ガイダンス(公務員含)	医療従事者としての心構えや資質を学ぶ。 栄養士・管理栄養士としての心構えや資質を学ぶ。 就職する上での心構えや資質について学ぶ。
後期中間	10 ○志望理由書・自己PR文演習 ・現代を知るワーク	学問研究と仕事研究をし，進路を探究する。
	11 ・チェック&ワーク	
	12 ○合格者・内定者ガイダンス ○進路講話	卒業後の進路に向けた心構えを身につける。 進路決定までの過程やアドバイスを2年生に話をする。
後期末	1 ○ポートフォリオまとめ 2 ○1年間のまとめ 3	探究した進路について整理する。

評価の割合	所見による評価			
考査の実施	なし			
評価	主な評価内容	評価の観点		
		知識及び理解	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	1 授業態度	○	○	○
	2 出席状況			○
	3 ワーク(テスト)・課題	○	○	○
4 ポートフォリオ	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「継続は力なり」です。授業を休まないように心掛けてください。 ・学習計画は，進路状況によって実施時期や内容を変更する場合があります。 			